

複数のセキュリティ機能を横断的に分析、高精度な監視と運用を実現

～UTM（統合脅威管理）製品を24時間365日体制で対応するMSSの提供を開始～

ソフトバンク・テクノロジー株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：阿多 親市、以下 SBT）は、UTM（統合脅威管理）製品に対し、24時間365日のセキュリティ監視・運用を行うサービス『MSS（マネージド・セキュリティ・サービス）for UTM』の提供を開始したことをお知らせします。



MSS for UTM サービス概要

昨今、侵害されることを前提とした対策や、企業・組織が被害を受けた際にいかに素早くビジネスを再開できるか、また、攻撃への抵抗力を強化するサイバーレジリエンス（回復力）が重要とされてきています。

そのような中、SBT ではお客様のセキュリティを統合的に監視し運用や対策を行うマネージド・セキュリティ・サービス（MSS）の強化を行っており、今回『UTM（Unified Threat Management）』製品を対象機器へ取り入れることでMSSのラインナップを拡充しました。

『MSS for UTM』は、UTM 製品の特長である複数のセキュリティ機能が出力する膨大なセキュリティログ・イベントをお客様に代わり SBT のセキュリティ専門家が監視します。ファイアウォール、IPS/IDS（不正侵入防御）、URL フィルタリング（Web アクセス制御）、アンチウイルス、サンドボックス（隔離環境による疑わしいファイルの解析）など複数機能で検知された異常に対し、各機能のログを相関的に分析することで、単一ログの分析だけでは困難な、感染の有無や危険度、影響範囲の判断を明確にし、高い精度の対策を実現します。これによって UTM 製品を活用した多層防御をより強固なものにします。

また『MSS for UTM』は SBT の既存 MSS メニューと組み合わせることでより高度なセキュリティ対応が可能となります。『MSS for EDR』との組み合わせでは UTM 製品で検知したアラートの一連の解析や遮断などの対処に加え、攻撃者に乗っ取られた PC 端末内部の悪意ある動きを分析し即座に封じ込めるといった追加の調査・対処までをサポートいたします。

SBT は今後も、サイバーレジリエンスの観点から、各種セキュリティ診断サービスや侵入防御ソリューションの提供に加えて、侵入後の検知や対処を可能にするエンドポイント型の対策や MSS、サイバー攻撃を想定した社内体制を強化する CSIRT 構築支援まで、お客様の情報資産保護や事業継続をワンストップでサポートいたします。

■MSS for UTM の詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.softbanktech.jp/service/list/managed-security-service/mss-for-utm/>

報道関係者様向け
お問い合わせ窓口

ソフトバンク・テクノロジー株式会社 コーポレートコミュニケーショングループ（吉田、與儀）
TEL：03-6892-3063 / Email：sbt-pr@tech.softbank.co.jp